

iiyama ホーム	製品一覧	スペシャルサイト	サポート情報	お知らせ
お知らせ INFORMATION		2019年		
2020年		iiyamaホーム > お知らせ > 広視野角・高輝度・高コントラストの液晶パネルを採用したデジタルサイネージ"iiyama"ブランドの業務用大型ワイド液晶ディスプレイ 3機種を発売		
2019年		2019年01月09日 広視野角・高輝度・高コントラストの液晶パネルを採用したデジタルサイネージ"iiyama"ブランドの業務用大型ワイド液晶ディスプレイ 3機種を発売		
2018年		お知らせ全文 (PDF:約452KB)		
2017年		株式会社マウスコンピューター（代表取締役社長：小松 永門、本社：東京都中央区、以下マウスコンピューター）は、液晶ディスプレイブランド"iiyama"（呼称：イイヤマ）の屋内向けデジタルサイネージ（電子看板）シリーズとして、業務用ワイド液晶ディスプレイ「ProLite LH4282SB」、		
2016年		「ProLite LH4982SB」、 「ProLite LH5582SB」の3機種を発売します。		
2015年		本機は、広視野角（左右、上下それぞれに178°）・高輝度（700cd/m <sup>2</sup> ）・高コントラスト（1,300：1）を実現するIPS液晶パネル（1,920×1,080ピクセル）を採用し、外光の映り込みが少ない非光沢ノングレア仕様にする事で見やすい画像表示ができます。デジタルサイネージに求められる長時間使用を実現するため、信頼性の高い液晶材料や長寿命電気部品などを採用することで、24時間の連続使用 ※1 に対応します。映像入力は近年、パソコンへの搭載率が高まっている DisplayPort、		
2014年		HDMIに加え、DVI-D、D-Sub、BNC（Y/Pb/Pr）の5系統の端子を装備しており、さまざまなソース機器との接続が可能です。また、映像送用に DisplayPort や DVI-I、ディスプレイコントロール用に RS-232C を使うデジチェンによるマルチディスプレイ（ビデオウォール）の構築に対応しており、スリムベゼルデザインによる一体感のある大型のデジタルサイネージを実現できます。さらに、省スペースのデジタルサイネージの提案が可能になる OPS（Open Pluggable Specification）		
2013年		※2 モジュール用スロットを背面に装備し、VESA マウント規格とともに、横置きと縦置きの両方に対応します。LAN 端子や赤外線入出力コネクタ、USB デバイスのマルチメディアファイル再生が可能な USB 端子など、デジタルサイネージとしての拡張性を高める端子も装備することで、屋内の訴求したい場所に合わせたデジタルサイネージを実現することができます。		
2012年		※1 1日の最長使用時間		
2011年		※2 OPS は、Intel Corporation が 2010年 1月に発表したデジタルサイネージ向けのコントロールモジュールとスロットのオープン規格です		
2010年		デジタルサイネージシリーズ		
2009年		Like 0 ツイート		
2008年		← 一覧に戻る		
2007年		▲ このページの先頭に戻る		
2006年				
iiyama製品、世界各国で続々受賞 WORLD AWARD				

## CONTENTS



## iiyama製品メディア掲載記事一覧

各種webメディアに掲載された、iiyamaディスプレイに関する記事一覧ページはコチラから▶



## テレワークの生産性UP！

テレワーク時に感じているそのお悩み、iiyamaディスプレイが解決します！詳細はコチラから▶



## iiyama製デジタルサイネージの特長がよく分かる

iiyama製デジタルサイネージの特長がよく分かる  
スペシャルサイトはコチラから▶